



令和2年1月31日

新宿区立江戸川小学校

No. 655

地球市民または世界市民としての学び手

副校長 森 信行

先日、区内の小学校を会場に環境学習発表会が行われました。当該地区の小学生の代表がその年度に取り組んだ環境学習の内容をICT機器等で発信し、学習の主体者としてのメッセージも発信します。その内容は様々です。地球温暖化防止をテーマに気温や降水量の変動を調べた後に緑のカーテン等の効果を検証したもの、地域の河川等の生態系を調べて、その変化と環境との関連性を調べたものなど、それぞれの学校の特色を生かしたものになっていました。本校でも数年前から新宿区環境日記「緑の小道」に4年生以上が毎年取り組んでいます（主に夏休み）。子供たちの研究内容を読むと、具体的な記述から学ばされることが多々あります。地球環境が危機的な状況に進んでいること程度は分かっているものの、具体的に何がどう変化して何が起ころうとしているのかは、恥ずかしながら知らないことがたくさんあります。東京都の気候をみても、平均気温は現在までの100年間で2.4℃上昇していて、スーパーコンピュータを用いた予測では21世紀末の平均気温は3℃上昇し、真夏日日数が年間で約40日間増加、冬日日数が約20日間減少するようです。一方で国としては多様な評価を得ているようで、日本の民間レベルの環境技術は世界でもトップクラスでハイブリッド車の性能は世界でもトップクラス、低燃費車でも世界最高といえる高性能ぶりを発揮しています。その他の家電などの分野でも、省エネ性能という面では世界を牽引する地位を築いています。また、排水や排気の浄化システムでも、世界に輸出すべきものを多数もっていて、東南アジアなど急激に工業化した国々では、日本からの環境技術の導入が切望されているようです。

これらの発信物に触れると、今何が起きているのかが分かり、今後どのようなことが望まれているのかがおぼろげながら見えてくる気がします。

令和2年度、江戸川小学校は環境学習発表会で学習成果を発表します。環境問題に詳しくなることだけでなく、様々な分野で広い視野をもち、問題意識を高められる機会になればと思っています。

<校長談話室>

2月10日(月) 10:00~12:00
お一人でも、お誘い合わせでも、お気軽にどうぞ
連絡先 3266-1602 副校長まで

2月の生活目標

時刻を守ろう

6年生を送る会

特別活動主任 山北陽平

本校では、各学年だけでなく他の学年とも交流を深めるために、全学年による縦割り班活動が年間を通じて行われています。「なかよし班」と呼んでいるその班の活動計画や当日の司会を担当しているのは、はいつも6年生です。企画や低学年への声掛け、当日の運営など教員が指示を出さなくとも進めているので大変頼もしく感じます。いつもリーダーとなって活動している6年生に、在校生も憧れや親しみを日々感じています。特に1年生は、「なかよし班」以外でも学校生活に慣れるためのお手伝いをしてもらったり、休み時間に一緒に遊んでもらったりと、6年生のことが大好きです。

そんな6年生の卒業を前に、今月21日には「6年生を送る会」があります。この会は「感謝の思いを互いに伝える」「次の学年にバトンを託す・受け取る」という2つの意味がある会です。在校生は、今までお世話になった6年生に楽しんでもらい、卒業後も思い出に残る会にしたいと、代表委員会を中心に装飾や出し物の準備を進めています。6年生も、江戸川小への感謝と在校生へのメッセージを込めて、出し物の準備をしているところです。学校全体で互いの想いが通じ合うような、温かい会にしていきたいと思っています。

